

職員による自己評価

A 環境面

- ・児童の体も成長し、室内・送迎車ともに狭く感じている。
- ・実務上で送迎や見守りに人手不足を感じる。

B 児童への支援内容

- ・プログラムは固定せず平日・休日・長期休みと分け、企画して支援している。
- ・支援開始前に打ち合わせをし、その日の注意点・時間・役割について確認している。

C 関係機関との連携

- ・学校受け取り時に先生と情報共有をしている
- ・自粛傾向にありあまり連携を取れていない

D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・連絡帳のやり取りや送迎時の伝言などできる限り伝えている
- ・月の会報紙を出している
- ・個人情報同意を得た上で十分留意している

E 非常対応

- ・消防計画に基づいた年2回の避難訓練
- ・防災グッズ・食料品も備蓄している
- ・虐待防止の勉強会を定期的に行っている

保護者による評価

A 環境面

- ・活動スペースが狭いように感じる
- ・事業所内がどうなっているかわからない
- ・柱がむき出しなのが気になる

B 児童への支援内容

- ・大変満足。楽しみに通っている
- ・学習以外での個別課題があるとよい
- ・療育的な活動を希望する
- ・日曜や祝日の受け入れありがたい
- ・食事やトイレしっかり見てくれている

C 事業所からの情報発信

- ・送迎時に丁寧に説明してくれている
- ・日頃の状態を把握し共有してくれている
- ・会報を子供とともに楽しみにしている

D 満足度

- ・明るく元気に接してもらいたい
- ・気の合う仲間がいて楽しみにしている
- ・誕生会等企画を楽しんでいる
- ・家庭でできない所外活動ありがたい
- ・各家庭の事情をもう少し考慮してほしい

事業所内での分析

【共通点】

- ・昨年同様、児童の成長もあり活動スペース・車内など狭さを感じている
- ・昨年同様、職員の数が足りていないと感じている
- ・連絡帳や送迎時の情報伝達を徹底していてそれに対しての評価を得ている
- ・避難訓練の定期実施で避難場所や連絡方法など共通理解できている

【相違点】

- ・より細かな児童の発達状況は話し合う機会が少なく共有できていない部分もある？
- ・自分の意志で来たいと思っていない児童ももちろんいる
- ・もう少し個々に特化した支援プログラムを求める声がある
- ・感染防止対策徹底も理解できるがもう少し融通を聞かせてほしいとの声もある

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・土曜日や長期休みを利用し、季節に合った行事やスポット等子供目線で発案・計画している
- ・年末年始以外すべて営業
- ・月の会報、連絡帳、送迎時伝達

事業所の改善点

- ・職員会議や勉強会の頻度
- ・職員全員の資質や専門的知識を高める方法
- ・職員の虐待に対する知識や対応
- ・職員間の情報伝達や共有方法
- ・個別プログラムについて

事業所の改善への取り組み

- ・シフト作成時に会議予定を設定しより多くの職員に参加してもらう
- ・会議には日頃の情報共有や虐待防止を軸とした研修・勉強会を実施していく
- ・ヒヤリハット事例を日々記録し大きな事故にならないよう対応策を模索していく
- ・朝礼を継続して行い、帰り送迎終了時にその日の支援について振り返る時間を設ける
- ・感染症対策徹底を継続し利用者や職員の体調を細かく管理する

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今年度も保護者様始め、職員一同様アンケートご協力ありがとうございました。
新たな利用者も増えましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響を受け事実上閉所に追い込まれた日もありました。被害を最小限にとどめるために引き続き皆様のご理解ご協力をお願い致します。
安心して預けられる、楽しんで帰ってもらいました来たくなるような事業所を目指して行きたいと思えます。
児童への支援を通じて日々我々職員も一緒に成長できるよう努めてまいります
これからも岡喜児童デイサービス弥生台をよろしく願いいたします。

事業所名 岡喜児童デイサービス弥生台

担当者 金盛 裕一